

日時：平成31年4月7日(日) 9:20～12:50

会場：すみだリバーサイドホール会議室

東京都隊友会墨田支部は、平成31年度総会を例年通り実施した。会勢5名増で35名となった。

墨田支部規約第15条第6項により「総会の定足数は、正会員及び役員¹の3分の1以上とし、正会員及び役員²の出席又は議決に関する委任状の提出により成立する。委任状の提出者は出席者とみなす。」とあり、正会員及び役員³の総数24名のところ、出席者7名、委任状12名、欠席者5名、3分の1以上の出席を以て本総会は成立した。

総会議長は墨田支部規約第15条第5項により選出し、飯田副支部長が行った。なお議決については墨田支部規約第15条第7項により「総会の議事は、出席した正会員及び役員⁴の過半数により決し、可否同数のときは議長⁵の決するところによる」となっている。

第1号議案：平成30年度事業報告・決算報告・監査報告

第2号議案：平成31年度事業計画・予算

第3号議案：墨田支部規約の一部改正

第4号議案：役員人事 ※墨田支部規約第10条に基づき

本総会における議案審議は全て承認された。(オブザーバーである特別会員・隊員含む総出席者14名)

続けて、「第4回墨田防衛防災講演会」を主催、講師に東京都総合防災部物資調整担当部長の大澤洋一氏(防大30期卒)を招聘し、墨田区および東京都隊友会の後援のもと、会議室定数42名満席で行われた。

演題は「首都直下地震に備えて～大規模災害時に於ける後方支援の立場から～」、首都直下地震に対する東京との取り組み及び大規模災害時における自衛隊による後方支援の実例を紹介しつつ、東京としての首都直下地震に備えた物資オペレーションに関する現状及び課題について講話された。

第6後方支援連隊長および関東補給処等の経験を元に、事前に墨田区危機管理へ足を運び情報共有すると共に、実際に自身の足で墨田区内をまわり物資集積所や流通ルート等を掌握されてからの講話であり、非常に勉強になった。

墨田区からは危機管理部長、防災課長、安全支援課長ほか職員が出席、東京都と墨田区、墨田区と自衛隊の連携の重要性を再確認する機会となった。

また、今回はじめて保健計画課が関連するすみだ食育 good ネットが参加、実際の炊出し現場で起きた各事由で食べられない食材に関する講話もあり、災害時食支援に関しての課題を再認識することができた。



続けて懇親会は34名で実施。濱田城東地区隊長による祝辞にて参加隊員(東京地本より濱田城東地区隊長・飯野江東所長・佐久間所員、1普3中隊より石塚中隊長・濱安2小隊長・有本先任)の紹介を受けた。飯野所長の乾杯の挨拶で懇親会を開始、合間にすみだ食育 good ネットによる活動紹介を実施、講師や隊員を囲み、隊員・OB・予備自・協力者等との活発な意見交換が行われた。

納杯は石塚中隊長の発声で行い、最後まで残った参加者で記念撮影を行った。



その後は第6回墨田観桜会会場へ有志で移動。1普3中隊2小隊を中心とした隊員約20名が集結し交流会が行われた。初回から観桜会を取り仕切ってくれている陸曹が今年も手料理を持参、参加者は美味しい手料理に舌鼓をうち、大いに盛り上がった。

また、長年参加してきた陸士が曹候補合格&結婚という吉報と共に新妻を連れて参加、祝杯をあげ大いに盛り上がった。無事の陸曹任官を祈念する。

毎年参加する隊員も増え、現場の隊員達との交流の中で顔が見える関係を構築できているので、今後も継続していきたい。

暖かい気温、おだやかな桜吹雪の下、過去最高の観桜会日和であった。



総会・講演会・懇親会・観桜会・総動員数約60名、今年も無事に完遂した。

隊友会墨田支部は令和元年度を迎えるにあたり、今後も墨田区と自衛隊の架け橋として活動していく。

支部長 大桃丈知

発行人 細川かおる(事務局長)